

研究計画書の例) アンケート調査の場合

研究計画書

見本

研究等のテーマ

助産所における各種クラスの利用状況および母親のニーズ

代表者

名前 神奈川 愛 所属 神奈川助産所 職位 院長

分担者

名前 ○横浜 さくら 所属 神奈川助産所

名前 川崎 桃子 所属 神奈川助産所

名前 所属

名前 所属

研究等の動機と目的

育児支援の一環として、産前産後における心身のセルフケアおよび仲間づくりを意図した各種クラスを展開している。母親が参加しやすく、より有意義なクラスとなることを目指して、各種クラスの運営に関して再検討したいと考えた。

本調査の目的は、各種クラスの利用目的および利用状況、クラスの運営に対する母親のニーズを把握することである。

研究等の背景

少子化及び核家族化がすすむ昨今、母親が担う子育ての役割は大きく、産後うつ病や虐待など深刻な問題につながることから、国や各自治体において様々な育児支援対策がとられている。助産師には、健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献する役割があり、多くの助産所において、妊娠から産後の母親を対象に、母子とその家族の健康の維持・増進に必要なセルフケア能力を高めるような各種のクラスが運営されている。これらのクラスは単に健康教室の場というだけではなく、母親同士の仲間づくりの場であり、エンパワメントを高める機会ともなる。

そこで、各種のクラスが母親にとって参加しやすく、より有意義なクラスとなることを目指して、母親の利用目的および利用状況、運営方法に対するニーズについて評価し、今後のクラス運営の在り方を検討する。

研究等の意義

助産所における各種クラスへの母親の利用目的および利用状況を把握し、母親が求めるクラスの運営方法について再検討することにより、母親が育児をしながら自己の健康をセルフケアできる機会を増やし、子育ての負担感を軽減することに寄与すると考える。

研究等の方法

1) 対象・条件

各クラスに参加している妊婦および産後 1 年以内の母親
但し、抗うつ剤内服中の者を除く

2) データの収集期間

平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日

3) データの収集方法

データ収集場所は、産前産後のクラスを提供している関東圏内の助産所
各クラスに参加している妊婦および産後 1 年以内の母親に、クラスの開始前に調査概要を記載した質問紙を配布し、口頭による説明を行う。アンケートの回収は、郵送法にて行う。

4) データの分析方法

利用者の実態を明らかにするために記述統計を用いる。自由記載に書かれた質的データは意味ある文節で分類する。

5) 倫理的な配慮

- (1) 調査の目的および方法について、文書と口頭にて説明する。
- (2) 協力は自由意志であること、不参加でも助産所におけるケアやサービスを受けるときに何ら不利益は生じないことを説明する。
- (3) アンケート用紙の提出をもって調査協力への同意とみなすことを説明する。
- (4) アンケートへの記入は無記名でよいこと、答えたくない質問には回答しなくてよいことを説明する。
- (5) すべてのデータは他の目的で使用しないこと、調査終了後に責任をもって破棄することを説明する。
- (6) 調査結果の公表は、施設名を特定されないように配慮することを約束する。

研究等の発表予定

発表予定の学会名；〇〇〇〇〇〇〇学会

発表予定の時期；平成〇年〇月〇日

〇〇助産所の各種クラスを受講されるみなさまへ
— アンケートのお願い —



当助産所における産前産後の各種クラスのご利用いただき、ありがとうございます。今後さらに、みなさまにとって有益で活用しやすいクラスづくりを目指す所存です。ぜひ、各種クラスの運営につきまして、みなさまのご意見・ご感想を聞かせていただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、本調査にあたり、私たちは以下のことをお約束いたします。

- (1) ご協力は自由意志であり、不参加でも助産所におけるケアやサービスを受ける際に何ら不利益が生じないことをお約束いたします。
- (2) アンケートへのご記入は無記名で、答えたくない質問は空白のままでも結構です。アンケートの提出をもって調査協力への同意とさせていただきます。
- (3) すべてのデータは、他の目的で使用したりすることはありません。また調査終了後に責任をもって破棄いたします。
- (4) 調査結果の公表は、施設名を特定されないように配慮いたします。
- (5) ご不明な点などございましたらお気軽にスタッフにお尋ねください。

1. あなた様ご自身のことについて、該当する数字または〇を記入してください。

- 1) 年齢 () 歳
- 2) 出産回数
 - ①今回はじめて() ②2回目() ③3回目() ④その他()
- 3) 居住地区について
 - ①〇〇市内() ②〇〇市外、〇〇県内() ③県外()
- 4) お仕事について
 - ①フルタイム() ②フルタイムだが現在産後休暇中または育児休暇中()
 - ③フルタイムだが育児時間の適用中() ④パートタイム ⑤専業主婦()

2. 現在受講されているクラスについて該当するものに〇をつけてください(複数回答可)。

- 両親学級() 妊婦ヨガクラス() 妊婦ピクス()
- 産後ヨガ() 産後フラダンス() ベビーマッサージ()
- 母と子のアロマ() 簡単料理教室() 〇〇助産所茶話会()

.....中略.....

アンケートへのご協力をありがとうございました。

研究計画書の例) 面接調査の場合

研究計画書

見本

研究等のテーマ

助産所を選択する夫婦の思い

代表者

名前	神奈川 愛	所属	神奈川助産所	職位	院長
----	-------	----	--------	----	----

共同研究者 (○印 発表者)

名前	○横浜 さくら	所属	神奈川助産所
名前	川崎 桃子	所属	神奈川助産所
名前		所属	

研究等の動機と目的

出産する場所の選択は、夫婦にとって重要な意思決定である。出産場所の選択には、出産および育児に対する夫婦の思いや医療側に期待していることについて、出産する女性と夫のそれぞれの思いがあると考え。

そこで本研究では、助産所を選択する際に、妊娠した女性とその夫が出産場所を選択するにあたり、どのような思いを抱いているのかについて検討する。

研究等の背景

厚生労働省の平成 17 年度『出生に関する統計』の概況によると、助産所における出産の割合は僅か 1.01%にすぎない。合計特殊出生率が 1.41 (平成 24 年) と一人の女性が生む子どもの数が漸減するなか、助産所を選択する少数派の女性と夫の間には様々な思いが存在すると考える。Winterton Report(1992)では、出産における女性の選択、継続性、コントロールの必要性が強調されている。女性自身が、出産する場所、世話をしてくれる人などについて選択し、管理できることは、個人や家族の健康や幸福が、意義深いものになっていく重要なことであるという考えに基づく。これまでの研究を概観すると、女性を対象として、出産場所の選択に関連する要因や出産場所の選択に対する評価などについて調査されているが、夫婦を対象として、助産所を選択する際の思いを質的に検討した調査は稀少である。そこで本研究では、夫婦を対象に、個別の構造化面接を行い、助産所を選択する際の思いについて質的機能的に分析し、検討する。

研究等の背景

女性が出産場所を選択するにあたり、女性が望む出産場所やケアに対する思いと同時に、当然期待される夫の役割とそれに応えようとする夫の思いがどのようなものであるかを明らかにすることで、助産所で出産する女性および夫にとり満足度の高いケアの充実に寄与すると考える。

研究等の方法

1) 対象・条件

助産所における出産を希望している妊娠初期の夫婦

2) データの収集期間

平成〇年〇月から平成〇年〇月

3) データの収集方法

データ収集場所は、出産を予定している助産所の一角で、プライバシーの確保できる一室にて行う。研究同意の得られた夫婦5組を対象に、妻と夫に個別の半構造化面接を実施する。

4) データの分析方法

半構造化面接をテープに録音し、録音内容について逐語録を作成する。語られた内容について、意味のとれる最小の文を分析単位とし、カテゴリー化する。

5) 倫理的な配慮

- (1) 調査の目的および方法について、文書と口頭にて説明する。
- (2) 協力は自由意志であること、不参加でも助産所におけるケアやサービスを受ける際に何ら不利益は生じないことを説明する。また、研究を承諾した後、または研究の途中であっても不都合がある場合にはいつでも中断できることを説明する。
- (3) 面接時間は30分程度であり、出産場所を選択する際の思いについて尋ねるほかに、年齢、職業の有無、家族構成、既往歴、現病歴などについて質問するが、答えたくない質問には回答しなくてよいことを説明する。
- (4) 了解が得られれば、面接の内容を残すためにICレコーダーへの録音し、逐語録を作成することを説明する。また、作成された逐語録については、希望があれば確認できることを伝える。
- (5) プライバシーの保護を徹底すること、またすべてのデータは他の目的で使用しないこと、調査終了後に責任をもって破棄することを説明する。
- (6) 調査結果について学会等で公表する予定であること、また公表の際は、個人や施設名を特定されないように十分配慮することを約束する。
- (7) 研究に関する質問はいつでもできることを伝え、連絡先を明記する。
- (8) 研究結果を希望される場合、希望の連絡先へ郵送できることを明記する。

研究等の発表予定

発表予定の学会名；〇〇〇〇〇〇〇〇学会

発表予定の時期；平成〇年〇月〇日

半構造化面接の内容



女性に対して

1. 助産所を知ったきっかけについて教えてください。
2. 助産所で出産しようとした理由について教えてください。
- 3.
- 4.
- 5.

男性に対して

1. 助産所を知ったきっかけについて教えてください。
2. 助産所で出産しようとした理由について教えてください。
- 3.
- 4.
- 5.